

紀伊山系直轄砂防事業の 対応状況について

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所

令和3年6月10日

紀伊山系直轄砂防事業の取り組み状況

■紀伊山系直轄砂防事業について

平成23年紀伊半島大水害で発生した河道閉塞(天然ダム)等の大規模土砂災害に対し、平成24年度より特定緊急砂防事業を実施し、基幹となる砂防堰堤の整備等により被災箇所への安全度の確保を図ってきたところである。一方、紀伊山系における崩壊の拡大や不安定土砂の流出など土砂に起因した災害に対する安全度の向上を図るため、平成29年度より国による「紀伊山系直轄砂防事業」に着手している。

大規模土砂災害対策箇所では、引き続き砂防堰堤や溪流保全工等の残工事、河道掘削土砂を活用した斜面对策工事を行う。また、溪流からの土砂流出が著しく認められる神野川流域(奈良県)での砂防堰堤工事及び高田川、三越川流域(和歌山県)等での新たな砂防堰堤を整備するための詳細な調査・検討を予定。今後、流域の荒廃状況等を把握した上で、優先順位の検討を含めた計画的な事業展開を行う。



■整備目標

- ① 河道閉塞部末端部に土砂流出を防ぐための砂防堰堤を整備し、河道閉塞土砂の侵食防止を図る。
- ② 砂防堰堤等を整備し、河道堆積土砂の二次移動の防止を図る。

■現状

- ① 土砂流出を防ぐための砂防堰堤が完成。
- ② 河道内堆積土砂の二次移動防止のための砂防堰堤整備及び崩壊地の排土工を実施。
→土砂流出を防ぐための砂防堰堤が完成したことから、一定の安全度が確保されている。今年度は砂防堰堤、管理用道路、除石工を施工予定であり、引き続き安全度の向上に努めていく。
湛水池の埋戻しは、令和3年3月末に完了した。

※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある



■整備目標

- ①河道閉塞部末端部に対策の基幹となる砂防堰堤を整備し、河道閉塞土砂の侵食防止を図る。
- ②砂防堰堤・床固工を整備し、河道堆積土砂の二次移動防止を図る。また、溪流保全工を整備し、湛水池からの越流水を安全に流下させる。

■現状

- ①河道閉塞土砂の侵食防止を図るための基幹となる砂防堰堤が完成。
- ②河道内堆積土砂の二次移動防止のための砂防堰堤・床固工・溪流保全工が完成。

→ 河道閉塞土砂の侵食防止を図る基幹となる砂防堰堤及び堆積土砂の二次移動防止のための砂防堰堤が完成したことで、一定の安全度が確保されている。現在は最上流の砂防堰堤の工事(無人化施工及び自動化施工)に着手しており、引き続き安全度の向上に努めていく。

湛水池の埋戻しは、令和3年3月末に完了した。

※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある



■整備目標

- ①河道閉塞部末端部に対策の基幹となる砂防堰堤を整備し、河道閉塞土砂の侵食防止を図る。
- ②排水路等を整備し、湛水池からの越流水を安全に流下させる。また、不安定土塊を除去し、斜面の拡大崩壊を抑制する。

■現状

- ①河道閉塞土砂の侵食防止を図るための基幹となる砂防堰堤が完成。
 - ②越流水の安全な流下のための仮排水路が完成。また、崩壊斜面の拡大崩壊を防ぐため、不安定土塊の排土を実施。
- 河道閉塞土砂の侵食防止を図る基幹となる砂防堰堤及び、越流水を安全に流下させるための仮排水路が完成しており、一定の安全度が確保されている。現在は砂防堰堤上流部の排水トンネル工(推進工)、それに付帯する工事用道路、管理用道路の施工に着手しており、引き続き安全度の向上に努めていく。

※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある



■整備目標

- ①河道閉塞末端部の安定化を図るための砂防堰堤を整備し、河道閉塞土砂の侵食防止を図る。
- ②砂防堰堤・床固工を整備し、河道堆積土砂の二次移動防止を図る。また、溪流保全工等を整備し、洪水流を安全に流下させる。

■現状

- ①河道閉塞土砂の末端部の安定化を図る砂防堰堤が完成。
 - ②河道内堆積土砂の二次移動防止のための砂防堰堤工及び洪水流の安全な流下のための溪流保全工が完成。
- 宅地に近い最下流の砂防堰堤が完成し、さらに河道閉塞土砂の末端部の安定化を図る砂防堰堤が完成したことから、一定の安全度が確保されている。現在は崩壊斜面上部の排土工（斜面对策工）および床固工を実施しており、引き続き安全度の向上に努めていく。



※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

R2.12.13撮影

■整備目標

- ①護岸工を整備し、崩壊斜面脚部の洗掘防止を図る。
- ②斜面抑止工を整備し、崩壊斜面上部の安定化を図る。
- ③集水井工を整備し、地下水の集水及び自然排水させる。

■現状

- ①崩壊斜面脚部の洗掘防止のための護岸工が完成。
- ②崩壊斜面上部の安定化を図るための法面工の一部を施工中。
- ③集水井3基が施工完了。

→ 崩壊斜面脚部の洗掘防止のための護岸工が完成したことから、一定の安全度が確保された。現在は引き続き崩壊斜面の押え盛土工、法枠・鉄筋挿入工および集水井を実施しており、引き続き安全度の向上に努めていく。



■整備目標

①砂防堰堤の整備等により、土石流や土砂・洪水氾濫の防止を図る。

■現状

- ①現在は引き続き小井谷砂防堰堤を施工中であり、令和3年度は前庭保護工に着手する予定。
また、小井谷2号砂防堰堤整備のための用地買収を進める。
- ②流域内で砂防事業実施に向けた調査・検討を引き続き実施中。

①工事用道路



②砂防堰堤工



■整備目標

①砂防堰堤の整備等により、土石流や土砂・洪水氾濫の防止を図る。

■現状

①深層崩壊箇所対策については、一定の安全度が確保された。

②令和3年度からは上流部の砂防堰堤整備に向けた地元説明、工専用道路工を行う予定。

※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

■ R3施工

■ R4以降

三越川

既存堰堤
(保護盛土)

工専用道路

砂防堰堤

砂防堰堤

三越地区

H30.4.18撮影

H30.4.18撮影

■整備目標

①砂防堰堤の整備等により、土石流や土砂・洪水氾濫の防止を図る。

■現状

①流域内で砂防事業実施に向けた調査・検討を引き続き実施中。



※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

H30.4.18撮影